

看護研究バックナンバー

Vol.
47
No.
7
Nov
Dec

●特集 | 看護を語る 看護を創る

「実践を語ること」と「捉えなおされた実践を語ること」—訪問看護師の家族支援と地域包括支援センター3職種の支援の2つの取り組みから 河原智江

集中治療室看護師の実践の意味 田代幸子

「うまくいかない」語りの意味—看護師が「難しい」と感じる障害児の家族とのかかわり 山本美智代

がん患者のエンド・オブ・ライフにおける認定看護師・専門看護師の看護実践の語り 福井里美

急性期病棟での緩和ケア—みなでやりきった実践の意味 守田美奈子

ケアと共感疲労—東日本大震災での救援体験をめぐる2人の看護師の語りから 小宮敬子

日常の看護場面においてはたらく「手」の現象学的考察—語り直すことからみえてくるもの 原澤純子

病院全体のバランスを見る—病棟看護師長の語りとその編成 西村ユミ, 前田泰樹

〈Scope〉

第8回 ICN INP/APNN カンファレンス報告—海外の Advanced Practice Nurse の動向

鈴木美穂, コリー紀代

〈連載〉

統計学のキー・ポイント—「検定」に焦点を当てて・6[最終回] 対応のある場合の2グループの有意差検定 高木廣文

Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑱[最終回] 研究でやってはいけない4つのこと 江藤裕之

Vol.
47
No.
6
Sep
Oct

●特集 | 看護ケアプログラムの体系化に向けて—看護研究と行動分析学

看護ケアプログラムの開発—行動分析学の視点から 鎌倉やよい

「看護すること(nursing)」を支援する学としての行動分析学—随伴性のアレンジによる行動変容 坂上貴之

実験的研究法としてのシングルケースデザイン 石井 拓

臨床看護におけるシングルケース研究法の意義—先行研究の概観を通して 飛田伊都子

[研究1]心臓手術後リハビリテーションにおける運動の自律的調整

廣島香代子, 鎌倉やよい, 深田順子, 梶原智代美, 松浦昭雄

[研究2]保育園児への歌を用いた手洗い指導プログラムの効果

山内三帆, 鎌倉やよい, 深田順子

〈特別記事〉

オープン・アクセスジャーナルへの投稿時の注意点—学術雑誌からのダイレクトメールに潜む落とし穴

山川みやえ

〈連載〉

統計学のキー・ポイント—「検定」に焦点を当てて・5 割合についての検定 高木廣文

Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑰ 批判的な態度 江藤裕之

Vol.
47
No.
5
Jul
Aug

●特集 | 知的財産としての看護研究—研究成果の特許化

知的財産としての看護研究—看護研究の特許化を中心に 佐々木明子, 田沼寮子

大学等学術研究機関における産学連携活動・知的財産活動の必要性 飯田香緒里

研究成果の保護・活用—東京医科歯科大学の知的財産管理体制を踏まえて 渡辺公義

看護研究における産学連携・知的財産活動事例 網中裕一

〈特別記事〉

災害看護におけるグローバルリーダーの輩出に向けて—国際誌『HEDN』創刊の意義 坂下玲子

〈総説〉

看護における研究倫理指針の歴史的展開—米国での形成と発展 松井健志, 會澤久仁子

看護研究におけるインターネット調査の利用 古川亮子

〈連載〉

統計学のキー・ポイント—「検定」に焦点を当てて・4 割合についての検定 高木廣文

Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑯ 批判的な態度 江藤裕之

